

令和6年度



肺炎球菌予防接種のお知らせ

今までに肺炎球菌予防接種を受けたことがない方は1人1回、3千円で接種できます。

今までに、公費負担で肺炎球菌予防接種を受けた方は、助成の対象外です。

【対象者】

- 65歳の方
- 60歳以上65歳未満の心臓、腎臓又は呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方で身体障害者手帳1級に該当する方も対象となります。

【接種期間】 **65歳の間**

【接種回数】 **1回**

【持参する物】

- ・肺炎球菌予防接種の予診票（紫色）
- ・接種料（自己負担額）：3,000円 ※忘れないようご注意ください。

※生活保護世帯は無料（予診票に右上に減免印あり）です。

<注意事項>

※必ず医療機関に予約をしてください。

※受診前に裏面『予防接種を受ける前に』をお読みください。

【主な接種医療機関】

接種の際は必ず予約が必要です。

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
竜郷中央クリニック	62-2525	風間内科・胃腸科	53-1717
肥後医院 (火・木 ※終日)	62-3023	かずや内科	53-6020
肥後診療所 (水・金 ※午前のみ)	62-4023	重信医院	52-4877
みんなの診療所	62-5010	せきクリニック	55-0070
名瀬徳洲会病院	54-2222	つばたクリニック	57-7771
県立大島病院	52-3611	ファミリークリニック ネリヤ	57-7177
朝沼クリニック	55-1555	むかいクリニック	55-1777
奄美病院	53-1200	よしかわクリニック	52-5300
奄美中央病院	52-6565	笠利病院	55-2222
いい・かねゆきクリニック	55-0303	奄美市笠利国保 診療所	63-0011
稲医院	52-0486	記念クリニック 奄美	55-2271
大島郡医師会病院	54-8111		

★ その他にも接種できる医療機関があります。詳しくはお問い合わせください。

<問い合わせ先> 保健福祉課 健康増進係 ☎：0997-69-4514

『予防接種を受ける前に』

◎接種を受ける前の注意事項

予防接種は体調の良い日に行うことが原則です。現在治療を受けている場合は主治医に相談してください。

次の場合は予防接種ができません。

①明らかな発熱（37.5℃以上）がある場合

②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合

※予診票は、接種を受ける方が責任を持って記入してください。

◎接種を受けた後の注意事項

①当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位は強くこすらないようにしましょう。

②接種当日は、いつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒はさけましょう。

◎他の予防接種との間隔は？

肺炎球菌ワクチンを接種した方は、接種日の翌日から数えて6日以上あけたら接種できます。またインフルエンザを先に接種した方は、他の予防接種を受けるには接種日の翌日からかぞえて6日以上あけてください。

（例：水曜日に接種した場合は翌週の水曜日から接種できます。）

同時接種につきましては、医師にご相談ください。



◎肺炎球菌とは・・・

肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通して飛沫感染し、気管支炎や肺炎、肺血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。



肺炎はわが国の死亡原因の第3位となっています。また、日常的に生じる成人の肺炎のうち1/4～1/3は肺炎球菌が原因と考えられています。

◎肺炎球菌ワクチンとは・・・

肺炎球菌には90種類以上の型がありますが、定期接種で使用されるワクチンは23種類の型に対しての免疫をつけることができます。

この23種類の型は、平成25年には成人における侵襲性肺炎球菌感染症の原因の約6割を占めるという研究結果があります。

1回接種すると、約5年間の効果があります。

※侵襲性感染とは本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

・今までに肺炎球菌予防接種を受けたことがある方

→定期接種の対象とはなりません。

・今までに肺炎にかかった方

→全部の型に免疫をつけることはできないので、予防接種を受けることは可能です。

◎肺炎球菌予防接種の副反応は・・・

72.3%に注射部位の痛み、26.2%に注射部位の発赤、23.1%に注射部位の腫れ、6.2%に頭痛、4.6%に脇の下の痛み、3.1%に注射部位のかゆみが見られます。

通常1～2日で焼失します。

また、まれにアナフィラキシー様反応、血小板減少、知覚異常、注射部位の蜂巣炎等が現れる場合があります。